

まちづくりプランナーになろう



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
三鷹市立 第二小学校	にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会	地域学校協働活動推進員 0名 0名	にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会
	平成19年4月1日 指定	地域コーディネーター 1名 1名	
三鷹市立 井口小学校	にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会	地域学校協働活動推進員 0名 0名	にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会
	平成19年4月1日 指定	地域コーディネーター 1名 0名	
三鷹市立 第二中学校	にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会	地域学校協働活動推進員 2名 2名	にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会
	平成19年4月1日 指定	地域コーディネーター 0名 0名	



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

にしみたか学園アクションプラン 「めざす児童・生徒像」

- ① 自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒
- ② 失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒
- ③ 常に学び続ける児童・生徒
- ④ 共に生きる力を育んでいく児童・生徒

※ 子どものプランをベースに、コミュニティ・スクール委員会(以下、「CS委員会」という。)主催による子どもとの懇談会、PTAや教員との熟議を経て、CS委員会を中心となって策定

目標や目指す姿(学校)

生徒の知的好奇心を高めるような、自ら学びたいと思える課題を提示しよう。

目標や目指す姿(地域)

子どもたちの学びのために、地域の大人と子どもたちの交流をする。



にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|-----------------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現役PTA役員 | <input type="checkbox"/> 町会 |
| <input type="checkbox"/> 歴代PTA正副会長 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> 放課後子供教室代表者 | <input type="checkbox"/> 各校校長 |
| <input type="checkbox"/> 住民協議会 | など、計 28 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 青少年対策地区委員会・交通対策地区委員会 | 年間平均 10 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

- ・ 各部会の動向を可視化するため、毎回部会報告を行い、進捗確認等の情報共有と質疑を行い、委員全員が把握している。
- ・ 毎回CS委員会終了後に委員全員参加のミニ熟議を実施し、全員が一言は発するとともに、にしみたか学園について考える時間を設けている。
- ・ 学校と地域とのつなぎ役を担うスクール・コミュニティ推進員(地域学校協働活動推進員)も委員となっており、CS委員会と学校の連携を強化している。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

CS委員会を中心となって策定した「にしみたか学園アクションプラン」を踏まえた取組となるよう、講師から子どもたちに話してもらいたい内容等を取りまとめ、取組の意義や目的等の共有をサポートした。当日には、一部委員は講師として登壇した。

後日開催されたCS委員会内では、「地域と連携したキャリア教育」をテーマに、子どもに学んでほしいことなどを熟議し、地域学校協働活動から得た知見を協議に活かしている。



アクションプラン策定に向けた生徒会との懇談会

地域学校協働活動

CS委員会内コーディネート部とスクール・コミュニティ推進員を中心に、アクションプラン等を踏まえて企画し、様々な職業の地域人材を探し、講師交渉した。また、当日の運営とともに、今後の地域学校協働活動につながるよう、授業終了後に講師同士の懇談会を実施した。後日CS委員会にて活動報告を行い、今後の活動に活かしていく。

【まちづくりプランナーになろう】総合的な学習の時間に、行政関係者とまちづくりに携わる地域人材の2人1組による講話と、子どもたち自身がまちづくりプランを考え、講師から講評をもらう授業



当日の座談会の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学園の目指す方向性である「にしみたか学園アクションプラン」は、CS委員会を中心となって、子ども・学校・保護者・地域が一体となって策定しており、これに基づき地域学校協働活動の展開が図られている。加えて、学園の目指す児童・生徒像の実現に向けて、協議と活動が一体的に行われるよう、CS委員が地域学校協働活動の中核を担う体制を構築している。

取組

成果・効果

- ◆ 子どもたちの提案から「いろいろな人と交流したい」「みんなで協力してつくり上げたい」という思いが随所に見られ、目標としていた「まちづくりに関わろう」という気持ちを醸成することができた。
- ◆ 授業終了後に開催した講師同士の懇談会では、大人にとっても発見・学びの機会となるとともに、新たなつながりを創出でき、子どもはもちろん、大人も一緒に学べる「社会に開かれた」授業となった。
- ◆ 子どもたちの真剣なまなざしを受け、「またやりたい」と言う講師も多く、講師の皆さんに学校に興味を持ってもらえるきっかけとなるなど、にしみたか学園及びCS委員会が目指す「多くの人が活躍できる場」づくりにつながった。